【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年7月23日(2024.7.23)

【公開番号】特開2024-9365(P2024-9365A)
【公開日】令和6年1月19日(2024.1.19)
【年通号数】公開公報(特許)2024-011
【出願番号】特願2023-203993(P2023-203993)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｈ 33/26(2006.01)
Ａ６３Ｈ 33/22(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｈ 33/26 Ａ
Ａ６３Ｈ 33/22 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月12日(2024.7.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
演出出力部と、
前記演出出力部の演出を外部に露出するための開閉部と、
前記開閉部の開制御を実行可能な制御部と、
を備え、
前記開閉部は、複数の遮蔽体と、隣り合う前記遮蔽体の端面を突き合わせて前記演出出力部からの演出の露出を遮る構造とを有し、
隣り合う前記遮蔽体の前記端面は、それぞれ前記演出出力部の演出出力方向に対して交差する斜面を有し、
それぞれの前記斜面を対向させるようにして前記演出出力部からの演出の露出を遮る、
演出出力玩具。
【請求項２】
前記遮蔽体は、前面が平面状であり、
前記構造は、前記開閉部の全閉状態において、前記遮蔽体それぞれの前面が１つの平行な平面状になる位置で前記遮蔽体を支持する構造を含む、
請求項１に記載の演出出力玩具。
【請求項３】
前記構造は、前記遮蔽体の前面の法線同士が成す角度を広げるように前記遮蔽体を移動させることで、全閉状態から全開状態へ遷移する構造を含む、
請求項2に記載の演出出力玩具。
【請求項４】
前記構造は、前記遮蔽体を中間リンクとし、基部を固定リンクとする４節リンク機構である、
請求項１～3の何れか一項に記載の演出出力玩具。
【請求項５】
前記４節リンク機構は、前記遮蔽体と前記基部とを結ぶ２つの連結リンクのうち、前記端面に近い側の内方連結リンクの方が長い、

請求項4に記載の演出出力玩具。
【請求項６】
隣り合う前記遮蔽体は、前記内方連結リンク同士が、全閉状態において所定の線形関係となる部位を有する、
請求項5に記載の演出出力玩具。
【請求項７】
前面中央部から前記開閉部の開方向に向かって徐々に厚みが小さくなる絞り形状の外形を備える請求項１～6の何れか一項に記載の演出出力玩具。
【請求項８】
前記開閉部を全閉状態から全開状態へ変化させる方向に付勢する付勢部と、
前記付勢部の付勢力に抗して前記開閉部を全閉状態で保持する保持部と、
前記保持部による保持を解除させる解除部と、
を更に備え、
前記制御は、前記解除部を作動させることで前記開閉部の開制御を実行する、
請求項１～7の何れか一項に記載の演出出力玩具。
【請求項９】
前記演出は、発光部による発光演出または回転部による回転演出である、
請求項１～8に記載の演出出力玩具。
【請求項１０】
発光体を回転させる発光体回転部、
を更に備え、
前記制御部は、前記発光体回転部の回転制御を実行可能である、
請求項１～9の何れか一項に記載の演出出力玩具。
【請求項１１】
前記発光体回転部は、バーサライタである、
請求項１０に記載の演出出力玩具。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の態様は例えば、演出出力部と、前記演出出力部の演出を外部に露出するための開閉部と、前記演出出力部の演出制御と前記開閉部の開制御とを実行する制御部と、を備え、前記開閉部は、複数の遮蔽体と、前記遮蔽体の端面を突き合わせて前記演出出力部からの演出の露出を遮る構造とを有する、演出出力玩具である。また本発明の態様は例えば、演出出力部と、前記演出出力部の演出を外部に露出するための開閉部と、前記開閉部の開制御を実行可能な制御部と、を備え、前記開閉部は、複数の遮蔽体と、隣り合う前記遮蔽体の端面を突き合わせて前記演出出力部からの演出の露出を遮る構造とを有し、隣り合う前記遮蔽体の前記端面は、それぞれ前記演出出力部の演出出力方向に対して交差する斜面を有し、それぞれの前記斜面を対向させるようにして前記演出出力部からの演出の露出を遮る、演出出力玩具である。